

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



できるだけ多くの方の参加で、 思いや考えを表明しましょう

宇佐市教育委員会の主催で、
「津房小の教育を語る会」が行われます。

令和六年度末現在、津房小学校が全校児童二十四名、佐田小学校十七名、深見小学校十九名で、過疎化による少子化により「極小規模校」となっています。

各小規模校とも小規模校なりに特色のある学校経営がされており、津房小学校では、まち協やアジア太平洋立命館大学の学生との交流、そしてまた地域住民との密な交流を行ってまいります。おそらくこれらの活動は、児童数の多い学校では取り組むことが難しいと思われる。

その一方で、子どもの保護者の方の中には、多人数でもまれあいを求める気持ちがあると思われれます。また、いじめがあった場合、「クラス替え」に救いを求めても、一学年一学級では「それ」もできません。

文科省は、「学校規模の適正化に関する



基本的な考え方」のうち、(学校の)地域コミュニティの核としての性格への配慮として「小・中学校は児童生徒の教育のため

の施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場等様々な機能を併せ持っています。

また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。

このため、学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討に当たっては、行政が一方的に進める性格のものでないことは言うまでもありません。各市町村においては、上記のような学校が持つ多様な機能にも留意し、学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれます。

と述べています。

私たち一般市民が選挙以外で行政にかかわる良い機会です。

御礼



左記のご家庭より香典返しをいただきました。御礼申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。

・松本 井福 政司様
（ご内儀様
井福 早苗様ご逝去）

23日(日) 「茶飲みの日」

を行いました。

今回は安心院高校の生徒さんのボランティア参加はかきませんでしたが、たくさんの方が参加して、賑わいのうちに第六回目を終えました。

今回のバザーに際し、多くの方からのたくさん

の物品の提供をいただきました。

ありがとうございました。うございませ



「あなたが重要だと思っているもののために闘いなさい。しかし、他の人達があなたに賛成するように闘いなさい。」

先日、新聞の広告に右の絵の本の紹介が載っていました。映画「スターウォーズ」に登場する「ダース・ベイダー」に似た名前だったので気になったのでしょつか(笑い)。
気になったので、ネットで少し調べましたが、難しかったので、本(漫画)を買うことにしました。アマゾンの紹介文をコピペします。
ルース・ベイダー・ギンズバークは二〇二〇年に亡くなるまでの二十七年間にわたり、アメリカの連邦最高裁判所で裁判官をつとめた女性です。
ルースは一九三三年、ニューヨークに住むユダヤ系の両親のもとに生まれ、幼いころからとても優秀でした。しかし、当時のアメリカでは教育や職業をめぐる女性差別やユダヤ人差別がひどく、若いルースもたびたび差



一生のうちに出会える「人」はそうたくさんいません。ましてや、対話してその人の考えや生き方を聞くことなどもっと少ないことでしょう。
しかし、本は「人」(生身ではありませんが)との出会いを豊かにしてくれます。
いろいろな本を読み、文字を通して、想像力を働かせれば、きっと生き方の指針に!

別に悩まされません。それでも「女性の自立」を説いた母の教えを胸に、法のもとで平等な社会を実現するために法律家を志します。
弁護士となったルースは男女平等が問われないくつもの裁判で実績を上げ、弱い立場にあった女性、ときに男性を助けます。その後、裁判官として判決をくだす立場となり、一九九三年には最も重要である連邦最高裁判所の裁判官に任命されました。最高裁判所では、男女の賃金格差に異議を唱えたり、マイノリティの権利を守ったり、多くの判決や意見で注目を集めつづけました。ルースは法のものとの平等を目指す「正義の象徴」として、アメリカじゅうの人びとから尊敬される存在になったのです。
漫画だから子どもも大人も気軽に読めます。千二百十円です。
良かったらお買い求めください。

お知らせ!

編集後記

- 4/13(日) 宇佐市長選挙
- 4/11~13 会議室は使えません
- 4/15(火) 19:00~
津小の教育を語る会
- 5/16 14:00~14:10
狂犬病予防接種(駐車場)
- 6/5 特定検診

今月号は、『ネタ切れ』につき、コピペ(コピー&ペースト)ばかりですいません。
公民館の周りの草花が芽吹いている反面、公民館がかかわるいろいろな団体で、「役員を変わってくれる人がいない」との嘆き節をよく聞きます。
徐々にそして確実に過疎化が進み、どうしようもない側面もあるかと思いますが、春の芽吹きのように、力強く組織を守れないものかと思うこの頃です。
先月号で、「健康マージャン」の「営業」をお知らせしましたが、『やってみよう』という方からお電話等いただきました。四月からよろしくおねがいします。引き続き募集中!!